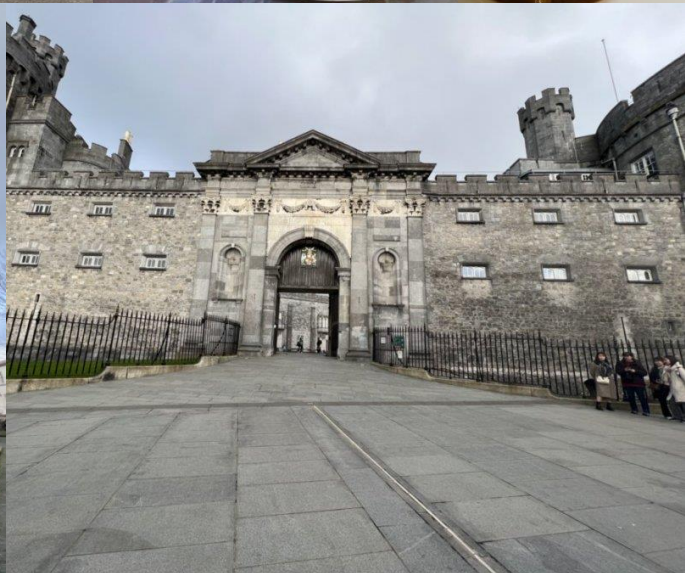




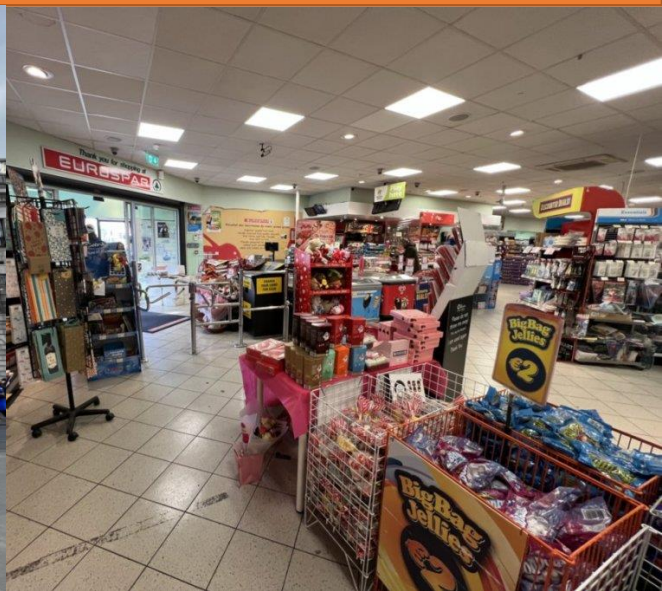
2023年春渡航



2023年春渡航



2023年春渡航



2023年春渡航





現地の人々とのコミュニケーションの中で、生きた英語に触れ、実践的な語学を習得することができました。

工学部 電気工学科 2年 山本 珠央さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ 不可 派遣先： アイルランド・DCU

大学に入学してから2年が経ち、大学での授業や生活に慣れてきた中、自分の英語力、特にリスニングやスピーキング能力にずっと自信が持てなくて悩んでいました。そして、何か自身を変えるきっかけになればと思い、アイルランドDCU語学研修への参加を決意しました。アイルランドについては、当時あまり詳しくはなかったのですが、ヨーロッパの中でも比較的治安の良い国だと聞いていたし、豊かな自然に囲まれる島国なので、日本と親近感を感じ興味を持ちました。

滞在期間中は、平日は午前9時から午後1時まで英語の授業を受講しました。私のクラスは、ほとんどの生徒が日本人でしたが、授業中はお互い英語で会話や意思疎通を図っていました。授業内容は、基本的には配布された教科書に沿って進められ、文法や語彙を学びました。他にも、お勧めの映画を紹介し合ったり、アイルランドでの思い出を作文することもありました。宿題や週1回のテストなどあったので授業外でも英語学習に時間を使っていました。

この語学研修では、一ヶ月ホームステイでの滞在でした。私の場合、ステイ先に一緒にお世話になる学生は居らずホストファミリーと私一人という状況に初めは緊張しましたが、とても親切にご家庭に迎え入れて下さり、すぐに打ち解けることができました。週末には観光地などへ連れて行って下さったり、ホストファミリーの友人の方にも紹介して頂いたので、たくさんの方と交流ができ貴重な経験となりました。

語学研修では、語学はもちろんのこと、アイルランドの文化やヨーロッパの生活様式まで色々なことを学ぶことができました。それらについて、現地の方から直接聞くことができたということに私はとても意義を感じます。生活の中で英語を使うという体験は初めてで、ただ文法を単語を知っているだけでは中々使いこなせないのだと痛感しました。実践的な英語力の向上も今後の課題の1つです。語学研修は、きっと様々な発見や自身の成長に繋がる経験になると私は思います。



英語の授業ではレベルごとにクラス分けされ、
日本国籍以外の友達と仲良く英語を勉強で
きました。

工学部 材料工学科 3年 前田 理貴さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ 不可 派遣先： アイルランド・DCU

夏に大学で行われているオンライン留学(二週間)を経験して、以後英語の勉強を続けていたのですが、実際に勉強してきたことが海外の地でしっかりと活きるのか、また海外の人に通じるのか思ったので、今回の渡航型語学研修に参加しました。

まずアイルランドに到着すると、約1か月共に生活するホストファミリーの方たちとお会いし、アイルランド生活における基本的なことを教えていただきました。そして現地について二日目から、ダブリンシティ大学で半日の英語の授業が開始されました。クラスは事前にプレイスメントテストを受けて決めたクラスなので、自分と同じくらいの英語力を持った人たちと学んでいくので、とても雰囲気良くて居心地が良かったです。他の国籍の学生も数人いたので、仲良くなって放課後にサッカーや食事に行ったりして異文化交流を経験できました。

放課後のアクティビティでは、現地の大学の方がアレンジして下さり、アイルランドの首都ダブリンを、歴史や文化の説明を交え案内してくれたり、キルケニー城と呼ばれる、アイルランドのトップ3に入るお城へ見学に行ったりしました。土日は特に、ダブリン以外の都市に行き、観光客でさえ行かないような穴場観光スポットまで連れて行ってくれるので、現地のアイルランド人の方の説明を聞きながらディープなお話を聞くことができたり、日本では体験できない様な貴重な時間を過ごすことが出来ました。無料で参加できるアクティビティもあるので積極的に参加して、アイルランドの魅力に触れることができました。

個人的に今回の語学研修で一番身についたと思うのは人間力だと思います。英語力も確かに伸びたと思うのですが、それ以上に、異国の場所で一人で何かをする力や、外国人とコミュニケーションをとって良好な関係を築き上げる力は格段に成長できたと感じました。

今後また海外へ行って様々なことを吸収したいと思っているので、継続的に英語学習は続けて、海外インターンシップや交換留学プログラムの参加をしたいと考えています。



外国人の生徒と同じクラスでディスカッション
主体の授業を受けることで話す力が鍛えら
れました！

建築学部 建築学科 3年 末口敬梧さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ ☐ 不可 派遣先： ダブリンシティ大学

1ヶ月という短い期間でより英語を上達させるためにホームステイで滞在できるこのプランを選びました。またアイルランドの気候が東京と近く欧米の中では比較的過ごしやすい気候でかつ市の中心にもアクセスがしやすい他、治安もかなりよく生活する上でのストレスが少なく勉強に集中しやすそうだったのが選んだ理由です。

滞在期間の活動は、平日は授業が13時までありそこからフリーで好きに時間を使うことができました。

アイルランドの生活や文化、観光などいろいろなことを体験することができました。シティセンターに赴いてランチをしたり、美術館などを回りました。授業では様々な国の生徒と話すことができるためスピーキング能力の向上だけでなく異文化理解も深まりました。また毎週テストがあるためモチベーションを切らさず勉強に集中することができました。

今回のプログラムを経て今まで得意ではなかった英語に対してかなりモチベーションを高めることができました。自分を含む日本人がいかに英語をしゃべることが苦手なのかということを実感し、これからのグローバルな時代を生きる上で英語力がいかに必要かを痛感したからです。最初はかなりしゃべれず困惑することも多くありましたが次第に自分の意見を伝えられるようになりホストファミリーやクラスメイトと仲良くなることができたためとてもいい経験になったと思います。行って後悔することは絶対にないため少しでも迷ったら行くべきだと感じました。



英語で話す力と、聞く力が上達します!

システム理工学部 生命科学科 2年
古川 日菜さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ 不可 派遣先: アイルランド(DCU)

コロナの自粛期間が明け、海外渡航ができるようになったので、短期留学で英語のリスニング力とスピーキング力を向上させようと参加しました。アイルランドのDCUを選んだ理由としては、4週間行け、ヨーロッパに短期留学できること、また、アメリカのプログラムよりもかかる費用が安かったことから決めました。

留学中の予定としては、平日の午前中に授業があり、午後はアイルランドの観光地に行ったり、DCUに留学に来ている人たちとカフェテリアで話したりしました。午前中の授業では、英語の文法や語彙を学びました。授業は英語で進むので、リスニング力やスピーキング力が向上しました。グループワークもあるので、クラスメイトとそこで仲良くなれました。やっている文法はすでに習ったことのあるもので、先生が話していることは理解しやすいと思います。また、英語での細かいニュアンスの違いを学ぶこともできました。毎週金曜日には1週間学んだ内容のテストがあります。午後はDCUのやっている観光のプログラムに参加したり、友人と独自で計画し観光したり、学校のカフェに行ったり、ホストファミリーとゆっくり過ごしたりしました。休日は1日予定がないので、遠くの場所に行けます。アイルランドは自然が多く、きれいな場所、歴史的な場所が多く、私たちと異なる文化の学習もできます。また、アイルランドの人はすごくフレンドリーで、バス停で待っていると、知らない人に突然話しかけられたりして、会話して仲良くなれたりしました。治安も、世界的にみるといい方だと思います。

このプログラムで私は、英語のスピーキング力とリスニング力が上達しました。また、英語をしゃべりだす前の躊躇がなくなったように感じます。周りの人も英語を学んでいる人なので、少し文法がちがくても汲み取る努力をしてくれたり、話しやすいように訂正してくれたりするので、英語で話しかけやすいです。また、自由時間も多いので、学校の勉強だけでなく、街での英会話も学ぶ機会が多いです。日本にいと英語を話す機会はなかなかないので、スピーキング力をあげたい人にはお勧めです。

英語に毎日触れることのできる環境に行くことで、英語に対する苦手意識や、英語を話すことへの恥ずかしさなどがなくなり、英語の学習意欲が向上しました。

工学部 電気工学科 2年 佐藤 良樹さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ ☐ 不可 派遣先： アイルランド・DCU

大学入学当初から英語を勉強することの大切さをわかってはいたのですが、なかなかやる気がでず、結局英語をほとんど勉強しないまま2年間が経ってしまいました。このままでは英語を勉強することがないまま大学生活を終えてしまう気がしたので、一回英語を学ばざるを得ない状況に身を置くことで学習意欲の向上に繋げようと思い、留学に行くことを決めました。なぜ数あるプログラムの中からアイルランドを選んだかということ、アイルランドは他の留学先と比べて比較的治安がいいということと、ホームステイができるので、英語に触れる機会を多くできる、朝食と夕食を用意してくれるため費用があまりかからないなどの理由から選びました。

留学中は平日の朝9時から13時まで大学で授業を受けました。最初に受けるガイダンスでクラス分けがされ、自分の実力に合ったクラスで学べるため、授業についていけるかの心配がなくなり、安心しました。クラスにはさまざまな国からの留学生が来ており、日本以外の国の文化を知れたり、逆に日本の文化を教えたりと、英語で話す機会がたくさんあってスピーキング能力の向上につながりました。授業中のどのタイミングでもわからないところがあったら質問ができたので、わからないまま授業が進んでしまうということがなく、スムーズに学習に取り組むことができました。放課後などは大学でスポーツを楽しんだり、都心部に行って観光をしたりできるので、そこでもまた外国の文化などが知れていい経験になりました。土日は大学が休みなので遠くに出かけたりすることもできます。

留学をしたおかげで1ヶ月という短い期間ではあったのですが英語力が自分でもわかるほど向上し、自分の英語をもっと高めたいと思えるようになりました。



自ら積極的にコミュニケーションをとることで、海外の方と関わることの楽しさ、相手を知ることの大切さを学びました。語学研修を通して、英語学習のモチベーションが上がりました！

システム理工学部 数理科学科 1年 河野凧沙さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ ☐ 不可 派遣先： アイルランド・DCU

ますますグローバル化が進んでおり、海外の方とコミュニケーションをとる、また活躍の場を広げるために私は英語を喋れるようになりたいと思っていました。普段から積極的に英語を学習していましたがそれだけではできることが限られていました。そんな中、大学が行っている語学研修について知り、親にも後押しをされ今回のプログラムに参加しました。私が参加したプログラムは、アイルランドのダブリンにあるダブリンシティ大学（DCU）で英語を学ぶものでした。他にもアメリカや東南アジアがありましたが、アイルランドの場合は61万円で参加でき、また4週間で一番長いのでDCUを選択しました。また、奨学金が最大8万円なのでそこも嬉しいポイントでした。

現地での生活については、平日は9:00～13:00に英語の授業を受け、放課後はシティセンターという町の中心地に行って買い物をしたりカフェに行ったりしていました。そのほかに少し遠出をした日もありました。お昼は大学の学食か学外で済ませました。休日は一日使わないと行けないようなところへ遠出をしました。アイルランドはとにかく自然が豊かなので非日常感を味わえますし、また都心より離れたところに行くともっと違った雰囲気を楽しめます。また、アイルランドは牧畜が有名なので放牧をよく行っています。そのため、遠くへ行くと羊、牛、馬などが見えますよ！！ほかに大学が放課後や土日にアクティビティーを主催しており、それに参加することもできます。無料で参加できますが、中には有料のものもあります。とても楽しめる内容なので参加してみると良いです。

語学研修を通して、正直英語力が上がったかは分かりませんが英語に対しての意識、姿勢が大きく変わったと思います。私は英語の授業で積極的に発言をするようにしていました。また、積極的に英語でコミュニケーションをとることを意識しました。私はもともと英語が得意だったりちゃんと喋れるという訳ではなかったのですが、自分から積極的に関わることで英語を話すということに対しての怖さが薄れました。また、海外の友達だけでなく、日本の友達もできてとても有意義だったと思います。

ステイ先が全然話してくれない！！
でもそのおかげで行動力が爆上がり！

工学部 情報通信工学科 3年 石川 裕貴さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ 不可

派遣先：アイルランド・DCU

まず初日にホームステイ先のおじいさんとおばあさんに「夜9時までのご飯と夜10時までのシャワーのルールさえ守ってくれば何時に帰ってきてもいいよ。」と言われ、ぽいっと家の鍵を渡される。そしてその後は家に早く帰ってこようが遅く帰ってこようが、彼らはプライベートな空間に閉じこもって私と会話をすることはありませんでした。そんな調子のため私が会話力を磨くにはホーム以外の場所を探す必要がありました。そこでまずDCUのジャパニーズソサエティに連絡を取り、ダブリンのシティセンター付近で日本文化に興味がある人の集まりがあるという情報を得て早速参加することに。一回目の参加では場の雰囲気や話した人の英語の速さに気圧されてしまい全然会話ができませんでした。それでもめげずに二回目も参加して自分から話しに行こうと心掛けた結果、沢山の人と話すことができた上友達を作ることができました。

それ以外にも自分たちで計画して毎日どこかに行ってみようとしたところ、例えばトリニティカレッジのオールドライブライブラリーや聖パトリック大聖堂で歴史や文化を学んだり、ブレイに行ったらアイルランドの大自然を感じたり、週末は足を延ばしてGalwayまで行きEd SheeranのGalway Girlのロケ地巡りをしたりと様々な経験をすることができ、行動力や向上心を得るとともにとても充実した一か月を送ることができました。

最後にですが、このDCUのプログラムに参加してるファミリーは良い意味でも悪い意味でもホームステイ慣れしている家庭が多いように感じました。もちろんとても親切で優しく毎日話しかけてくれるファミリーもありますが、私みたいにまったく会話がないう家庭やそれ以上にひどい所もざらにあるということがホームステイの真実ではあると思います。でもその状況を変えるためにDCU内のアコモデーションを管理している所に相談しに行ったら実際にファミリーを変えてもらった人もいますし、変えてもらえなくても自分から会話をできる場所を探したり観光をしたりして毎日を充実させることができた人もいます。なので楽しめるか楽しめないかは自分自身に委ねられています。

アイルランドは日本と違い目に見える建物のすべてが歴史的で、中世ヨーロッパにタイムスリップしたような不思議な感覚を覚えるととても面白い国でした。是非とも自身で工夫して素晴らしい留学体験をして欲しいです。